

KTK いづみ福祉会を 守る会だより

2020. 秋 NO.63



☆ワーキングセンターいづみ☆
～お盆プログラム～

悩み、心配、不安を少しでも 解決する取り組みを…

和束町社会福祉協議会
会長 姫野 忠之

ご一同様には、ますますご壮健のことと存じます。

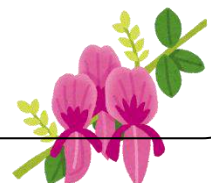
いづみ福祉会には京都府の南部山城地域の障害者施設として、またこの地域の障害者福祉向上の総合センターとして、幅広い事業に取り組んでおられることに感謝いたします。

さて、昨年度末から新型コロナウイルス感染防止のため、さまざまな事業に影響が出ているところです。特に施設におかれましては感染防止に向けて色々とお取り組みいただき、お礼申し上げます。新型コロナウイルスの一日も

早い終息を願ってやみません。

いづみ福祉会では障害のある方々やご家族の悩み、心配、不安を少しでも解決する手伝いを行政や福祉事業所・関係機関と連携しながら果たして行きたいと考えておられます。これからも引き続き地域に根差した障害者施設として取り組んでいただきますよう、お願い申し上げます。

皆様方も、いづみ福祉会への一層のご支援をお願い申し上げます。



地域の
つながりから

浄瑠璃寺巾着、完成しました！

～ワーキングセンター・クラフト班～

ワーキングセンターでは、ご利用者の工賃向上のための色々な取り組みを行っています。その中で、地域とのコラボレーションのなかで完成した『浄瑠璃寺巾着』について、ご紹介をさせていただきます。

京都新聞 7月30日（木）に
掲載されました！！



工賃向上を考える時、ただ売り上げが上げれば良いというものではなく、ご利用者が作品をつくることで、今まで以上にモチベーションが高まり、誇りを持てるような商品にしたいと考え、地域とのつながりの輪のなかで商品を生み出していこうと企画をスタートさせました。

そのなかで、地元の誰もが知っている有名な物を探してみようということで、浄瑠璃寺さんとの長年のお付き合いに着目しました。浄瑠璃寺さんとコラボした商品であれば、お寺への観光客の多くの方にもご利用者の作品を見てもらえる絶好の場所になるのではないかと考えました。

そこで、佐伯住職に工賃向上の趣旨をご説明し、相談をさせていただくなかで、浄瑠璃寺のイメージと合った商品ということで、草木染の巾着を選びました。

試作段階でもご利用者にも熱が入り、もとの目的にもそったかたちで、ご利用者も巻き込みながら、浄瑠璃寺とのオリジナル作品が生まれました。

そして、最終段階で浄瑠璃寺のロゴをどのように入れるかを悩んでいたところ、同じく障害者福祉に取り組んでおられるお近くの相楽福祉会「わーく相楽」の革細工と出会いました。実際に佐伯住職にご紹介いただき、わーく相楽さんと相談をして、革細工で浄瑠璃寺のロゴを作っていただくこととなり、二つ目のコラボが実現することとなりました。地域とのつながりのなかで生まれた商品の完成です。

私たちの草木染と浄瑠璃寺さん、わーく相楽さんとのご縁で誇りのつまった地域の作品を作り上げることができました。現在は新型コロナウイルスの流行にともない、浄瑠璃寺を訪れる観光客の方も減っていますが、次第に落ちつき他府県からも来ていただき、多くの方に見ていただけることを願っています。

(高山)



[タテ23cm×ヨコ18cm]

草木染 2,000円で、
浄瑠璃寺でご購入いただけます。

地域の中でのコラボレーションが実現！！

コラボレーション★インタビュー



浄瑠璃寺
佐伯住職

今回作製していただいた巾着は、三か所のそれぞれの関係性が結実しています。

いづみさんとも、相楽さんとも以前より長いお付き合いがありながら、その双方同士のつながりもありながら、三か所が同じ一つに関わったのはこれが初めてかもしれません。

それぞれが出せる物を出し合い、出来ることをしていく。個人同士においても、組織・団体においても、また社会全体を通じても大切な在り方かと感じています。



相楽福祉会 わーく相楽さん

私たちは10年ほど前より革小物づくりを行っています。同じ地域の福祉事業所様が頑張っておられる姿は、利用者の方や職員も励みになっています。

また、共同で商品開発など協力しあってできればよいですね。



ワーキングセンターいづみ
染め班Oさん

作製にあたってひもを入れる所を1cmに折り、アイロンをかける所が難しかったけど、出来上がった完成品を見て、「おおっ！！」と思いました。

インフォメーション

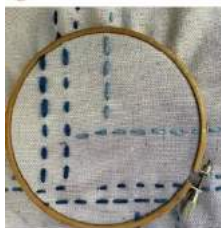


インスタグラム始めました！！

イベント、販売告知、販売会に向けての作製中の様子などを投稿しています。みなさんのフォローお待ちしております。



いいね！: elliemikan2016, 他
working.idumi 奈良助物語館で販売する商品をご紹介します。
【草木染めてぬくい】
今夏新商品の草木染めてぬくいです。草木染めの優しい色がとても涼し気です。
いづみのてぬくいの長さは100cmと一般のてぬくいよ



working.idumi 草木で染し子 ブックカバーになる予定です。奈良まち振興会に向けて準備中。



いいね！: kacayumichen, 他
working.idumi *****



QRコードでも
読み込んでいただけます

新型コロナウイルス感染予防について

～衛生委員会より～



新型コロナウイルスの流行にともない、世界中の多くの方が今まで通りの生活ができない状況となっています。それは、ご利用者も同様で施設の運営にも大きな影響が出ています。現在のいづみ福祉会の状況や感染予防について、衛生委員会よりご報告をさせていただきます。

新型コロナウイルスの流行はとどまることなく、全世界で感染者が増え続けています。木津川市で感染者が出た際には、見えないウイルスに恐怖を覚えました。大きな感染拡大につながらず、ほっとしたものです。

新型コロナウイルス対策は手洗い・消毒の徹底、密閉・密集・密接の「3密を避ける」、発熱しているときや体調が悪い時には自宅で休養するなど大切になってきます。いづみ福祉会の各事業所では、感染者を出さない、うつさないために、様々な取り組みをすすめています。

自粛自粛と、色々なことを我慢せざるを得ない毎日でしたが、「コロナこわいな」と、ご利用者の皆さんが積極的に協力してくださる姿が印象的でした。

まず1つ目の影響としては、余暇の時間が削られることになりました。仕事や通院など、どうしても必要なことを優先させると、削られるところは余暇の時間になってしまいます。ご利用者の皆さんも思っていたよりスムーズに受け入れてくださいましたが、余暇を自粛し続けることは、精神衛生上よくないと自分自身を振り返ってみてもわかることです。現在は地域の感染状況を見ながら、「都会には行かない」「電車・バスに乗るときにはマスクをつける」「ショッピングは時間を短く」などの条件を設けて、外出の支援も再開することにしました。不安な気持ちを抱えての再開でしたが、お店や施設も感染症対策を講じてくださっていますので、基本的なことを守りながら、外出を楽しめたらよいと感じています。

もう一つ大きな痛手になったのが、ご利用者さんの工賃の問題です。奈良での販売会は大きな収入源でしたが、外国人観光客が激減したことを受けて、販売会も中止になってしまいました。京都の観光客が減ったために、お土産用のお菓子の箱折の下請け仕事もなくなってしまいました。収入が激減してしまったため、やむなく工賃を引き下げることになりましたが、少しずつ新しい仕事を得られたり、販売会も開催できるようになったりと明るい兆しも見えてきているところです。

このように、工夫して前にすすめる問題もありますが、避けられないこともあります。それは密接です。ご利用者と接触せずに行える食事介助や排泄介助はありません。職員は必ずマスクを着用し、手洗い・消毒も徹底して健康管理にも努めていますが、「もし感染していればご利用者にも移ってしまう」という不安と隣り合わせの支援には違いありません。

新型コロナウイルスの流行が収まる様子はみられません。これからもできる限りの感染予防対策を講じながら支援を続けていくこととなります。「コロナこわいな」と何もかもやめてしまうことはできないことは分かりました。仕事も余暇も同じように人間の営みにとって大切なことが分かったからです。今まで出来ていたことが出来なくなったことをなげくのではなく「新しい楽しみ方を見つけた！」と喜べるような日常をご利用者の笑顔を糧に作り出していきたいと思っています。

衛生委員会 委員長 三船 美香

防災委員会の取り組みについて

～洪水時の避難確保計画の取り組み～



いづみ福祉会では、防災について検討を行なう『防災委員会』を設置しています。日々、防災に関する問題について、学習と検討を行なうと共に、行政との連携も強めて行けるよう取り組みを進めています。

今回、事業所ごとに作成をしていた「洪水時の避難確保計画」について、木津川市と共に計画の検証・見直しを行なった様子がNHKの取材を受け、去る9月2日の「ニュース630 京いちにち」で放映されましたので、以下でご報告をさせていただきます。

「洪水時の避難確保計画」とは…

平成14年の熊本の豪雨による特別養護老人ホームでの14名がお亡くなりになった事例、平成28年の岩手県の認知症グループホームでの入居者9名全員がお亡くなりになった事例をきっかけに「水防法等の一部を改正する法律（平成29年）」が施行され、要配慮者利用施設の避難体制の強化を図るため『水防法』及び『土砂災害防止法』が平成29年6月に改正されました。

浸水想定区域や土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設の管理者等は、避難確保計画の作成や避難訓練の実施が求められるようになりました。

「避難確保計画」とは、水害や土砂災害が発生するおそれがある場合における利用者の円滑かつ迅速な避難の確保を図るために必要な事項を定めた計画です。避難確保計画を作成したときは、その計画を市町村長へ報告する必要があります。

いづみ福祉会では10の事業所すべてが浸水想定区域にあるということで、「洪水時の避難確保計画」を作成していました。

今回はより実効性の高い計画としていくことを目的とし、淀川河川事務所や木津川市危機管理課の支援を受け、計画の検証と見直しを行いました。

今回の見直しとしては、全事業所で避難経路を複数用意すること、避難の判断時期、また加茂地域の避難場所として想定している南加茂台小学校での避難場所の確保を木津川市に再度、お願いをさせていただきました。



NHK京都放送局「ニュース630 京いちにち」（9月2日、3日 放送）

『要配慮者の逃げ遅れをゼロに』



今回はグループホームを中心に取材を受け、グループホームの更屋施設長のインタビューや木津川市との計画の見直しの場面、防災委員会での再検討の様子などが放映されました。



↑ 放映時のグループホームの皆さん。画面にくぎ付けです。



自分のところとからだを整えましょう

地域活動支援センターいづみ 神谷佳世子

みなさんいかがお過ごしでしょうか？今年は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関連して、これまでとは違った世の中の雰囲気になっています。暮らしに変化があった方も多くいらっしゃるかと思います。そこで今回は、ところもからだも健やかに過ごせるコツをお伝えしたいと思います。

(1) 健康的な生活習慣を維持し、睡眠・食事・運動（ストレッチなど）に気を配ろう。

まずは、からだを整えましょう。からだを整っていると、ところも整いやすくなります。

(2) 新型コロナウイルスに関する情報は厚生労働省等の信頼できる情報源に限定しよう。

情報が多すぎると、混乱して疲弊してしまいます。メディアから少し離れる時間を持ちましょう。

(3) 自分の手に負える範囲で対処しよう。ときには「仕方ない」と諦めることも大切。

とはいえ、心配がすぐに消えるわけではないでしょう。そんなときには「心配だよね」「よくやっているよ」などと、ところの中で自分にやさしく声をかけてみてください。

… 新型コロナウイルスに限らずいろいろと心配なことがあるかと思います。そんなときにはどうぞ、自分にやさしくお過ごしください。そうすると、不思議とまわりの人にもやさしくなれます。



マスクづくり～コロナの終息を願って～

いづみ家族会 森本 知佳

2020年度も早いもので、半年が過ぎました。しかし、家族会では新型コロナウイルス感染拡大の影響により、総会をはじめ施設見学会や親睦会などの活動が、なかなか行えない状況が続いています。そこで、家族会として何か出来ることはないかと役員で話し合い、今や生活必需品となっているマスクをいづみの草木染めのハンカチを購入して作り、家族会会員の皆さんに配布することにしました。



草木で染めた
ハンカチ



マスク作製風景

クラフト班にお願いして、ハンカチ生地をあかね、藍、すおう、えんじゅ、玉ねぎの美しい五色の草木染めにして頂きました。マスクになるように折りたたみ、ゴムもセットしました。ハンカチマスクは、折り方の工夫でサイズも変えられ、洗濯もしやすく、またスカーフとしても使って頂けます。草木染めならではの優しい色合いも、心を和ませて頂けるのではないかと思います。一日も早い新型コロナウイルスの終息を願いたいと思います。



児童デイサービス



今年度の児童デイサービスの「土曜活動」を紹介したいと思います。昨年度まで「わか」で行っていた目的別療育を引き継ぎ、児童の学齢や特性、目的に応じて活動を行っています。



☆きづ☆

調理活動を中心としたプログラムを行っています。メニューの話し合い、買い物、調理…みんなで力を合わせて取り組んでいます。最初は包丁を使うだけで大変でしたが、だんだん慣れてきて、落ち着いて切る姿が見られるようになってきました。

☆かも☆

調理活動を中心としたプログラムを行っています。作るメニューの中で使う食材を赤・黄・緑の栄養素に分けてバランス良く食べられるように工夫をしています。また、一人で料理を作れるようになることを目標に取り組んでいます。



☆かも第二☆

「公共交通機関を利用する練習」「ワーキングセンターのラスク納品での社会体験」の活動を行っています。新しいことにチャレンジすることで、「自信」や「友達と協力して取り組む楽しさ」を実感しながら、ステップアップ中です！！

グループホーム 夏だ！祭りだ！楽しむぞ！



グループホームの夏といえば、夏祭り。今年はコロナもあるため、日々自粛と頑張っている皆さんとささやかな手作り “ミニ夏祭り『屋台風夜店ごはんと花火大会』”を行いました。

メインの夜を盛り上げるため、午後から小グループに分かれて、楽しく飾り作りをしました。おやつは手作りの白玉団子とあんこや練乳かき氷。自分たちで作るのはまた格別。夜ごはんは調理スタッフが腕によりをかけた屋台風ワンプレート。にぎやかに飾られたリビングでいただく晩ごはんは、いつもと雰囲気が違いました。

食後はお待ちかねの花火です。皆で外へ出て、花火に1つ火をつけると、次々に皆さんが花火から花火へ火を渡していかれます。終わったらバケツへチャポン。最後の片付けまでばっちりなミニ夏祭りとなりました。

コロナ禍ではありますが、日常生活の一部を“特別”なものとしてワクワク楽しむことができました。これからも暮らすことを丁寧に、生きることを楽しむホームでありたいと思います。(深田)





会費納入ありがとうございました！！



2020年度の会費納入をお願いします。同封の振込用紙をご利用ください。
個人会費は一口1,000円、団体（法人）会費は一口3,000円です。

会費納入をいただいた方々です。（敬称略、順不同）

（2020年6月2日～2020年10月20日受付分）

青山まり子	荒川 知行	荒川 正志	飯干 孝子	生水 淳稔	生駒 基達	石井 理市	石川 啓子	石崎 常則	伊地知文雄
稲垣 和三	稲垣きみ子	稲垣 政子	井上テルノ	井上 裕之	岩井 忠敏	岩口 佳子	岩田 君子	上田 繁夫	伊地知節子
植村 陽子	遠藤 松子	大垣 啓子	大川 曠	大久保 愛	大蔵 和子	大谷 儀嗣	大堀 人美	大森 貢	伊藤美恵子
岡 照雄	岡島 政彦	岡田 敦子	小川 リ糸	奥村 晃正	奥村 裕子	小澤 邦三	織田 広由	梶田 由美	大久保寿行
河口 弘信	川口 洋行	川口 昌子	川添 倫男	川西 毅	川畑 國夫	河原 宗弘	河原 正子	来住 恒男	大久保靖美
来住 弘之	来住 育子	北尾 政信	北尾 清美	北川 幸子	北口 隆吾	北林 国子	北森 仁	北森 博	坂口美千代
久保 恭子	黒田 和代	小寺 栄子	小南 和子	小南 和彦	小宮山 繁	近藤 進一	近藤 満子	阪口 昌通	阪口 賀世
坂本 良子	澤田 康子	柴田 雅弘	地曳 高士	新谷 裕美	新谷 隆一	須河 大市	須河 弘明	杉岡 照美	北辻 智美
杉本 清重	杉若 良子	鈴木 秀年	住岡 晴美	住岡 裕之	住岡 智美	炭本 民子	高原 和子	津山 時子	須佐美ひとみ
竹中 正春	竹中まり子	田崎 冷子	田中 道子	谷口 照子	谷本 悟	玉置 修三	寺内 直子	辻本 勝代	曾我千代子
土居 永法	土井 正夫	土井 信子	土井 知恵	富満 通男	中井 薫	中林 清美	西上 泰子	西嶋 憲明	辻本弥三郎
西田 衣代	西村 正子	西本 義尚	沼田 和子	橋本 洋一	橋本 さち	馬場 勝幸	濱 茂	廣尾 操	西田 誠志
林 知子	林 紹雄	林 牧子	林 良美	林 和孝	東 敦子	樋口 正雄	姫野 忠之	廣末 洋子	西本奈良重
福井 一義	福井 博敏	福家 省造	藤井 章子	藤井 孝夫	古城 笑子	洞 正子	堀 啓子	松田 幸雄	長谷川秀俊
松原 雅子	松本 博司	松由 大	三嶋 恵美	宮崎 栄子	宮嶋 良造	村上 康行	村上 智乃	前田 安廣	前田眞佐美
村木 康二	村田 和子	森川 護	森川ひろみ	森嶋 光代	森本 一子	安見 和代	藪本 知子	山内 康司	藤村富美子
山口 明美	山田 文諒	山本 妙子	結城 英雄	讓尾ひとみ	油谷 紀子	吉岡 克弘	吉岡 文夫	吉岡 敏子	水無瀬隆造
吉田 和文	吉田 純子	吉本 玲子	吉本 恵	脇 悦子	和智 正治	和智ちさと			
大西燃料	毎日新聞	タツタ電線株式会社		山口医院	ろっぽのみみ				

*郵便局からの情報到着までに時間差があり、掲載できていない方がおられる可能性があります。申し訳ありません。

ご寄付ありがとうございました。

お名前をご紹介します、お礼に代えさせていただきます。（順不同）

いづみ福祉会および守る会に多くの方々からご寄付をいただきました。ありがとうございます。

（2020年6月2日～2020年10月20日受付分）

堀 啓子様	西田衣代様	田中靖三様	村上智乃様	北尾清美様	奥東義之様	山田多賀子様	西山和美様
岩井忠敏様	奥野恵津子様	奥村裕子様	平井充様	津村美紀様	石崎敬子様	家田雅彦様	加茂ぬくもりの里様
古川ひろみ様	鈴木久代様	谷淵茂子様	福島利明様	濱 茂様	柳原洋子様	近藤進一様	阪田モーターズ様
土井信子様	南本様	荒川知行様	馬場久代様	中井直子様	馬場達也様	廣尾 操様	和東社協様
高山純子様	山際久江様						

現金、IHコンロ、加湿器、アイロン、織機道具、ポット、布団、毛布、シーツ、マット、カバー、座布団、毛布、衣類、靴下、長靴、タオルケット、タオル、鞆、ざる、ボール、鍋、茶碗、皿、湯飲み、陶器、保存容器、お盆、時計、下着、生地、はぎれ、画用紙、折り紙、ビーズ、CD、雑誌、充電機、スポンジ、洗剤、洗濯ネット、掃除用品、車イス、米、わら、玉ねぎ、じゃがいも、きゅうり、なす、スイカ、梨、カキ、ジュース、お茶、園芸土、ホース、ブルーチップ券

ご寄付いただいたものは、有効に活用させていただいております。厚くお礼申し上げます。

また、ご家庭に不要なタオル、ご飯茶わん、電気ポット、掃除機、食洗器、洗濯洗剤、マグカップ、湯呑み、雑巾、ビーズ、長靴（大人用）、大きなプランター、フードプロセッサ、寸胴鍋、加湿器、パズル、家庭用ミシンがありましたら、よろしくお願ひします。

衣類につきましては、たくさんのご支援をいただき、受付を終了させていただきます。

編集 いづみ福祉会を守る会

連絡先 社会福祉法人 いづみ福祉会 内

〒619-1143

京都府木津川市加茂町観音寺石部8番地

TEL: 0774-66-4114 FAX: 0774-76-0070

URL: <http://www.idumi-fukushikai.or.jp>

《 編集委員 》

ボランティア団体：西嶋 いづみ家族会：来住

法人職員：丸岡伸、大久保、宝田、土井